

田中真洲氏のご遺族から多数の作品を寄贈

田中 真治氏（雅号：真洲）

1892年8月25日、中郡須賀村の材木商を営む田中家の次男として生まれる。

尋常須賀小学校、尋常高等平塚小学校高等科を経て、中央商業学校を卒業し、甲辰学舎にて漢学を修める。漢文学は春日井柳堂に学び、書道を斎藤万州に師事したが、更に日下部鳴鶴、近藤雪竹、久保井華畦（渡辺小華門下）氏等の諸先生に就いて堂奥を究めた。また、篆刻を高田翠石に師事した。

田中真洲氏は結婚して東京に新居を構えたが53歳の時に東京大空襲により自宅を焼失し平塚市に移った。代官町に創作の拠点を設け、隸書体は当代随一と高く評価されています。作品は宮内庁や神社など公的な場に多く奉納されており、市内の三嶋神社（須賀）や前鳥神社（四之宮）にも揮毫奉納されています。

真洲氏は、1951年4月に平塚市市議会議員に初当選し2期努めた。その間、議会選出の監査委員も務めるなど本市の行政及び文化の発展にご尽力されました。

平成21年4月、田中真洲氏のご遺族から、真洲氏「直筆の書」及び生前収集されていた資料を寄贈していただきました。

今回、寄贈していただいた資料は図書館では参考室に常置し、広く市民の調査・研究に供していきたいと考えています。また、博物館では市史編さん担当で保存していきます。今回作成した目録には、図書館資料が663件、博物館資料が180件収録されています。

今回いただいたもの

博物館：茶室「方閑亭」の表札

真洲氏手製の筆

拓本、額、巻物、写真等180件、2,172点を目録化した

図書館：漢詩大観全五巻

書勢（真洲氏が主催した雑誌）

門下生に指導した際使った書籍等663点を目録化した

【平塚市との関わり】

公 職

1948年 平塚市選挙管理委員に就任

1951年 平塚市議会議員に当選（2期8年在籍）

” 議会選出の監査委員に就任
1956年 平塚市文化連盟委員長に就任
1957年 平塚市文化財保護委員長に就任
1983年 平塚市功労者表彰を受賞

揮 毫 等

1928年 前鳥神社（四之宮）に神楽殿額を揮毫奉納する
1947年 三島神社（須賀）に大幟を揮毫奉納する
1956年 平塚駅前柳の碑を揮毫する
1968年 前鳥神社（四之宮）創祀1600年祭にあたり、論語10巻と千字文1巻を揮毫奉納する。その記念に同神社に「筆墨塚の碑」を建てる
1982年 平塚市市制五十周年に特大の筆で「万寿」を揮毫する

経 歴

1892年 平塚市千石河岸に生まれる（本名：真治）
1907年 書道奨励協会に入会
1921年 結婚し、日本橋に新居を構える
1922年 全国書道展で最高賞を受賞
1935年 平塚に書斎を設け「方閑亭」と名付ける
1945年 東京大空襲により自宅を焼失、平塚市に移る
1946年 書道奨励協会第五代会長に就任
1948年 平塚市選挙管理委員会委員となる
1949年 書道同文会が結成され、副会長となる
1951年 日本書道連盟を創立、理事として参加する
” 平塚市議会議員に当選
” 議会選出の監査委員に就く
1956年 平塚市文化連盟委員長となる
1957年 平塚市文化財保護委員長となる
1974年 勲五等双光旭日章を受章
1975年 紺綬褒章を受章
1982年 書道同文会の第四代会長に就任
1983年 平塚市功労者表彰を受ける
1988年 紺綬褒章を受ける
1991年 書道奨励協会名誉会長に就任
1992年 書道同文会名誉会長に就任
” 神奈川文化賞を受賞
” 杏雲堂病院でご逝去